

事務事業名	屋外広告物関係費										担当課	部課名	計画建築部街なみ景観課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	02	細目	001	説明	04	課等の長	荻窪 裕之	電話	4261

1. 事業概要

事業開始年度	平成 16 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務
事業概要	屋外広告物掲出許可及び違反掲出物の除却を行う。				
対象	4. その他	屋外広告物許可			580 件
根拠法令等	法律等	屋外広告物法			
事業実施内容	1 屋外広告物の許可業務 申請件数:580件 2 違反屋外広告物の除却業務 除却枚数:2,399枚 3 違反屋外広告物除却協力員制度の運用業務 協力員:123人				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:金子園) (委託等内容:違反屋外広告物の簡易除却を行い,良好な景観の維持を行う。) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (違反屋外広告物除却協力員制度の運用による違反屋外広告物の簡易除却を行う。)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 2,741 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	10 千円	県内会議用交通費等
		需用費	233 千円	消耗品費
		役務費	100 千円	除却協力員ボランティア活動保険料
委託料	2,398 千円	違反屋外広告物除却業務委託費		
財源内訳	R元年度 支出済額 2,741 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	2,741 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.08
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.08

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
行政費用 A	24,708	22,188	22,534	22,975				
(1)現金を伴う支出 (千円)	22,461	22,710	22,759	22,956				
事業費(支出済額-②報酬合計)	2,398	2,603	2,716	2,741				
償還金利息	0	0	0	0				
人件費合計(①+②+③)	20,063	20,107	20,043	20,215				
①職員給与合計(常勤)	18,930	19,176	19,067	19,013				
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
③退職金相当額	1,133	931	976	1,202				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,247	-522	-225	19				
①減価償却費	0	0	0	0				
②退職給与引当金繰入額	2,247	-522	-225	19				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	58.12	425,105	51.90	427,501	52.49	429,317	53.05	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		法律等に基づいた申請に対して許可を行う事業であるため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	許可対象の屋外広告物が申請なく掲出されているものの現状を把握し，是正措置等を講じていく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	現地パトロールの強化により現状を把握し，是正措置等を講じていく。また，窓口やパトロール等において屋外広告物条例（概要版）の配布等により，屋外広告物条例の内容及び手続について周知を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	屋外広告物設置者に対して，許可基準の周知や継続申請時の安全点検実施を指導することにより，良好な景観の維持及び公衆に対する危害の防止が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	違反広告物の是正指導を強化するとともに，業務委託による簡易除却や市民による除却協力員制度を活用し，良好な景観の維持を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
8	違反屋外広告物除却協力員制度の運用に関すること	無	無	1	3
9	違反屋外広告物の是正指導に関すること	無	無	1	3
10	屋外広告物許可申請業務に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	計画建築部	氏名	奈良 文彦	確認日	2020/7/8
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画法許可等関係費										担当課	部課名	計画建築部街なみ景観課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	002	説明	03	課等の長	荻窪 裕之	電話	4261

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 56 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務		
事業概要	藤沢市風致地区条例に基づく審査及び許可を行い、良好な都市環境の形成と促進を図る。						
対象	4. その他	風致地区内行為許可				254 件	
根拠法令等	法律等	都市計画法					
事業実施内容	1 風致地区内行為の許可業務 許可件数:254件 2 風致地区標示施設の維持管理 標識板面交換3箇所						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 182 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	182 千円	施設修繕費
財源内訳	R元年度 支出済額 182 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	182 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	18,832	18,946	19,172	19,637			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,407	19,449	19,388	19,619			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	116	116	116	182			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	19,291	19,333	19,272	19,437			
	①職員給与合計(常勤)	18,202	18,438	18,334	18,282			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,089	895	938	1,155			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-575	-503	-216	18			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-575	-503	-216	18			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	44.30	425,105	44.32	427,501	44.66	429,317	45.34	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		法律等に基づいた申請に対して許可を行う事業であるため、指標の設定ができない。						
実績1 単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	風致地区内において，相続等による土地の細分化が進み，建築計画により高木等が伐採され，緑が減少している。
(2) (1)解決のための今後の取組	適正な緑化配置の誘導や，緑地面積の算定において既存高木の保存に対するインセンティブ制度を設置する等により既存樹木の保全を促進し，都市における風致の維持を図る。また，許可案件の進捗状況を確認し，必要に応じて指導を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	建築物の建築等の許可行為に応じた建ぺい率，色彩，緑化などの規制を行うことで，周辺の自然環境と調和した土地利用への誘導が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	景観法や藤沢市屋外広告物条例等と連携を図り，第4種風致地区として，周辺の自然環境と調和した土地利用がされるよう，地域性や周辺環境に配慮した計画に誘導する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	風致地区内における建築物の建築，宅地の造成，木竹の伐採その他の行為の許可に関すること	無	無	1	3
12	風致地区条例違反の是正指導に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	計画建築部	氏名	奈良 文彦	確認日	2020/7/8
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市デザイン推進費										担当課	部課名	計画建築部街なみ景観課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	005	説明	01	課等の長	荻窪 裕之	電話	4261

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務
事業概要	魅力ある都市景観の形成を図るため、景観法を活用した景観誘導を行うとともに、市民主体の景観形成への支援及び啓発活動等により、個性豊かな潤いある生活環境の形成を推進する。				
対象	4. その他	景観法に基づく届出, 認定又は通知等			99 件
根拠法令等	法律等	景観法			
事業実施内容	1 景観法に基づく届出, 認定又は通知等 99件 2 都市景観審議会 4回開催 3 都市景観アドバイザー事前協議 4回開催				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 関東地方都市美協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 1,204 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	314 千円	都市景観審議会報酬
		報償費	180 千円	景観アドバイザー謝礼
		需用費	482 千円	消耗品費, 印刷製本費
		役務費	131 千円	都市景観審議会速記料
その他	97 千円	旅費, 負担金補助及び交付金		
財源内訳	R元年度 支出済額 1,204 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	1,204 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.23
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.23

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
行政費用 A	22,911	22,821	22,515	22,896				
(1)現金を伴う支出 (千円)	22,916	23,360	22,912	22,876				
事業費(支出済額-②報酬合計)	1,021	1,320	1,424	1,204				
償還金利息	0	0	0	0				
人件費合計(①+②+③)	21,895	22,040	21,488	21,672				
①職員給与合計(常勤)	20,659	21,019	20,442	20,384				
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
③退職金相当額	1,236	1,021	1,046	1,288				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	-5	-539	-397	20				
①減価償却費	0	0	0	0				
②退職給与引当金繰入額	-5	-539	-397	20				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	53.89	425,105	53.38	427,501	52.44	429,317	52.87	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		法律等に基づいた申請に対して認定を行う事業であるため、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	現在8地区の地区別景観計画を指定しているが，その他の地域についても地域の特性に応じた景観形成を推進する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	景観まちづくりに対する関心を高めるために，まちづくりガイドブックの配布等による情報提供とともに，合意形成に向けて必要な助言を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	魅力ある都市景観の形成を目指すため，都市景観審議会や都市景観アドバイザー制度を効果的に運用した。また，景観法に基づく届出や認定申請時に，景観計画に基づき地域の特性に応じた規制・誘導を行うことにより，魅力的な景観形成が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	良好な景観形成に向けて，引き続き都市景観審議会や都市景観アドバイザー制度を活用し，景観法に基づく規制・誘導を行う。また，地域の特性に応じた景観形成を推進するため，市民主体の景観形成への支援及び啓発活動を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	景観計画の策定に関すること	無	無	1	3
2	景観計画の調整及び事業の推進に関すること	無	無	1	3
3	景観法に係る届出制度等の運用に関すること	無	無	1	3
4	景観アドバイザー制度の運用に関すること	無	無	1	3
5	景観形成協議会等の運営に関すること	無	無	1	3
6	都市景観審議会の運営に関すること	無	無	1	3
7	都市景観審議会の委員の改選に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	計画建築部	氏名	奈良 文彦	確認日	2020/7/8
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート簡易版(令和元年度分)

No. 4

事務事業名	景観資源推進費										担当課	部課名	計画建築部街なみ景観課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	005	説明	02	課等の長	荻窪 裕之	電話	4261

1. 事業概要

事業開始年度	平成 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市街なみ百年条例に基づき指定した旧東海道藤沢宿街なみ継承地区において、歴史や文化を大切にした魅力ある街なみ形成を推進するために、街なみ継承ガイドラインによるまちづくりに取り組むとともに、建物の所有者等に対して歴史的建築物の保全や街なみの修景整備に関する経費の一部を補助する。また、地域の魅力ある自然や歴史的な景観資源を市民共有の財産として活用していくために、景観フォーラム等を開催し、都市景観に関する意識啓発を行う。						
対象	1. 個人	市民			433,060	人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市街なみ百年条例, 旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助金交付要綱					
事業実施内容	1 旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助 ・外観保全工事 1件2棟 2 都市景観の意識啓発に関するイベント等 2回開催 ・街なみ景観フォーラム:「まちなかアート10年 藤沢宿 蔵・町家とアートの発展性」参加者68人 ・まちあるきイベント :「秋色の旧藤沢宿で蔵・町家をみてあるく」参加者19人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 歴史的建築物の所有者等) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 1,907 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	100 千円	景観啓発イベントの開催に伴う専門家等への謝礼
		旅費	46 千円	先進地区調査等
		需用費	493 千円	消耗品費, 印刷製本費
		負担金補助及び交付金	1,268 千円	旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業
財源内訳	R元年度 支出済額 1,907 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	1,383 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	524 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.69
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.69

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	21,288	16,191	19,130	18,345			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	23,213	16,949	18,844	18,331			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	7,298	2,063	2,559	1,907			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	15,915	14,886	16,285	16,424			
	①職員給与合計(常勤)	15,017	14,197	15,492	15,448			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	898	689	793	976			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,925	-758	286	14			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-1,925	-758	286	14			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	50.08	425,105	37.87	427,501	44.56	429,317	42.36	433,060

成果実績	指標名	街なみ修景等に関する補助の実施件数	目標	4	単位	件	3	単位	件	3	単位	件	1	単位	件
	実績			3	単位	件	2	単位	件	2	単位	件	1	単位	件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	補助実施件数の他、街なみ継承ガイドラインに基づく誘導による景観資源の維持・保全や、イベントの実施による街なみ景観に対する市民意識の向上が図られる。													
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				7,096,000.00		8,095,500.00		9,565,000.00		18,345,000.00					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	歴史や文化に配慮した街なみが失われつつあるため，歴史的建築物の保全や活用に向けたアドバイスや街なみ修景等の補助事業による支援，市民や事業者の街なみ継承ガイドラインへの関心や理解を得るための意識啓発を図る必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	歴史的建築物の保全や活用を進めるために，生涯学習部や経済部と連携を図り，補助事業の紹介や技術情報・利活用に関するアドバイス等を行う。また，景観フォーラムの実施や修景事例パンフレットの配布を通じて，地域とともに街なみ継承ガイドラインに基づく地区イメージの共有を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	街なみ継承ガイドラインに基づくまちづくりに取り組むとともに，歴史的建築物の保全に関する補助を行った。また，市民が主体となる景観まちづくりを推進するため，街なみ景観フォーラムやまちあるきイベントなどの意識啓発を行った。その結果，景観資源である歴史的建築物の保全・活用が図られるとともに，市民の景観まちづくりへの関心や理解が深められた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業に関しては，1棟でも多くの歴史的建築物が保全されるよう，活用事例の紹介や保全のための技術的なアドバイスを行い，利活用を働きかけていくとともに，今後の事業方向性を検討する。また，保全から建て替えの時期にある藤沢宿を魅力あるまちにするために，景観フォーラム等の実施により市民の都市景観に関する意識啓発を図るとともに，地域とともに街なみ継承ガイドラインに基づく地区イメージの共有を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
13	良質な街なみの形成の促進に関すること	無	無	1	3
14	旧東海道藤沢宿街なみ継承地区に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	計画建築部	氏名	奈良 文彦	確認日	2020/7/8
----	-------	----	-------	-----	----------